



令和6年度に向けて「かける!」

～ 生徒会テーマ「2nd Sseason『Episode.5』」決定 ～

2月もあと2日を残すのみとなり、いよいよ令和5年度の最後の月となる3月を迎えます。

3月は、3年生にとって最後の関門となる公立高等学校一般選抜、卒業証書授与式、1・2年生の修了式が行われます。そんな中、2月26日(月)に生徒会主催の3年生に向けた「エール&感謝祭」が行われました。まず、萱原生徒会長が会の冒頭で「これまで中学校で積み上げてきた経験や仲間との思い出は未来への架け橋になると思います。自分を信じ、仲間を信じ、先生方の教えを支えに、これから広がる新しい世界で、思いきり羽ばたき駆け抜ける人生になることを心から応援しています。」との挨拶がありました。



【テーマ発表】

その後、太巻生徒会副会長から、生徒会テーマ「episode 5」の発表がありました。

それは「かける」です。このテーマには、以下の4つの漢字を当てはめて、様々な「思い」が込められています。

「駆ける」…これから続く新たなステージに「駆」け出していこう!

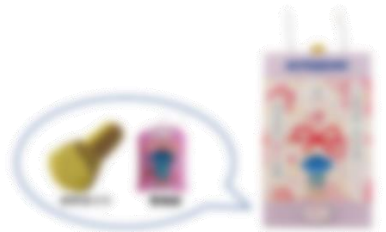
「架ける」…新たなステージに駆け出していくための橋(=最善の準備)を「架」けていこう!

「掛ける」…人と人との「掛」け算で、学習や部活動に励み、よりよい成果を残していこう!

「懸ける」…小さなことでも全力で取り組み継続すればきっと叶う、と願いを「懸」けよう!

これを聞いて、年度末という今の時期と、入試・卒業・進学・進級を控えた現在の綾川中学生にとってぴったりなテーマだと感じました。

テーマ発表の後、「各きょうだい学級」の1・2年生代表から3年生に対して、それぞれ激励や感謝のエールメッセージ(色紙)とともに、「ゆるみ止めねじ」(※ねじの頭部が五角形(合格)で、「祈成就」と刻印されたお守り(右写真)が贈呈されました。そして、それを受け取った各学級の3年生代表からは、1・2年生へのお礼のメッセージと、次代の綾川中学校を託す期待や思いが語られました。



そして会の最後には、笠井前生徒会長から「僕たちはこれから将来の夢に向かって新たなステージに踏み出します。その夢への第一歩として、多くの人が公立高校の入試に向かいます。自分の夢を叶えるためにも、今日の1・2年生からのエールを胸に頑張りたいと思います。」との決意とお礼の挨拶がありました。

さて、今日の「エール&感謝祭」の中で、総勢21名の生徒代表がそれぞれスピーチを行ったのですが、共通していたことがあります。それは、どの生徒も、「重み」があり「思い」が伝わる言葉をチョイスし、原稿に目を落とすことなく心が伝わってくる堂々とした話ぶりが見事だったということです。令和5年度、綾川中学校2年目の全校集会、学年団集会、学校行事では、上記のような光景が多々見られるようになりました。このような熱い思いを自分の言葉で堂々と語るという流れをつくり上げたのは、やはり3年生でした。

すばらしい3年生と一緒に生活できるのも残すところ10日となりました。3年生の中学校生活のラストパートを全校生で応援し、3月12日(火)には、全力で門出を祝いたいと考えています。



【各学級の3年生代表からのお礼の言葉】

【エールメッセージ(色紙)とゆるみ止めねじの贈呈】



【 北校舎に掲示された3年生へのエールメッセージ（生徒会） 】



【 「努力のつぼみを開花!! 新たな春にサクラ満開」 】